

広報あさひまち

2003年4月号
No.557



みんなの力で元気な町づくり



登坂ひかる 広報委員会副委員長

民生児童委員、国民文化祭実行委員として活躍中。

平成10年度より町広報委員。ハツ沼在住

平成十五年度の町づくりがいよいよスタートしました。

少子高齢化対策、生活環境基盤の整備と定住対策、産業の活性化、教育の振興、市町村合併などの重要課題にどう取り組むのか。

新年度の町づくりに臨む清野町長に、登坂ひかる広報副委員長がインタビューしました。

●登坂 今日は平成十五年度の町づくりについてお伺いしたいと思います。今年度は市町村合併などの検討課題があり、大変お忙しい年になるのではないかでしょうか。

●町長 そうですね。重要な課題をいくつか抱えており、みなさんの声に耳を傾け、全力で町政運営にあたらなければならぬと思っています。

●登坂 具体的な施策をお聞きする前に、今年度の当初予算について伺います。昨年度よりも随分減ったとお聞きしましたが。

●町長 町民税などの税収や地方交付税の減額により収入が少なく、昨年に比べて約四億円減、総額四十四億六千二百万円の予算を編成しました。

今年度は町四役や議員の報酬、管理職（課長）手当の減額、職員数の削減などにより人件費を大幅に減額し、事業費の確保に努めました。今後も組織改革と事務の効率化を進めながら経費

削減を図り、各種事業を展開したいと考えています。

少子高齢化対策の充実

●登坂 私は民生児童委員をさせていただいているが、「年をとっても安心して暮らせる町」を望む声が大変多いです。高齢者の支援策についてはいかがですか。

●町長 介護保険については、この度六十五歳以上の方の保険料の見直しを行い、特別給付事業として新たにおむつ代を支給することにしました。ほかに、老人保健受給者への高額医療費支給や昼間タクシーの運行、一人暮らしの方への愛のベル設置などをを行い支援していきます。

また、健診やヘルシー栄養講座、スポーツ教室など、若い世代からの健康づくり事業にも力を入れたいと思います。

新たな視点での 産業の振興

いかがでしょうか。

●登坂 産業の振興については町農業については、朝日町ブランドの確立、地産地消運

トサービス事業などを立ち上げましたが、今年は健康福祉課内に「子育て支援係」を設けて、さらに充実させたいと考えています。保育園のあり方や整備についても検討したいと思っています。

●町長 昨年はアミリーサポートサービス事業などを立ち上げましたが、今年は健康福祉課内に「子育て支援係」を設けて、さらに充実させたいと考えています。保育園のあり方や整備についても検討したいと思っています。

特集●平成15年度の町づくりと予算 みんなの力で元気な町づくり



清野 隆 町長

平成4年11月に初当選。以来3期にわたり町政の舵取りにあたる。今年11年目、四ノ沢在住



動などに積極的に取り組みたいと思つています。また、農産物の付加価値を高める加工品開発も大いに支援し、農家の所得向上に努めたいと考えています。新規事業としては、ダチョウによる特産品開発や販路拡大、畜産環境対策事業「朝日土づくりセンター」建設に取り組みます。商工業については、昨年度に引き続き商工業者の資金繰りを応援する「商工業緊急対策利子補給制度」を設け、町単独で利子補給を行います。さらに、「商工業活性化対策事業」として共通商

重要課題の解決は 町民とともに

品券の発行などをを行い、町内商店を支援していきます。

聞いていただき、その上で決定していただくようお願いします。

● 市町がどのような考え方を持つているかなどを十分調査しながら適切な判断をしたいと思います

● **登坂** 和合小学校の統合、改築の件についてはいかがですか
町長 三月中旬に和合学区民と話し合いを行いました。その結果「地区民の合意なしでは統合しない」「老朽化が進み、危険校舎に対する整備をどうするか」ということについて、再度検討することになりました。

● **登坂** 統合、校舎新築、校舎改修などについて教育委員会ともよく話し合い、六月議会まで検討し結論を出したいと思っています

問題とともに、住民の意見をよく

の話を伺うのはもちろん、近隣市町がどのような考え方を持っているかなどを十分調査しながら適切な判断をしたいと思います

●**登坂** 和合小学校の統合、改築の件についてはいかがですか

●**町長** 三月中旬に和合学区民と話し合いを行いました。その結果「地区民の合意なしでは統合しない」「老朽化が進み、危険校舎に対する整備をどうするか」ということについて、再度検討することにしました。

結果「地区民の合意なしでは統合しない」「老朽化が進み、危険校舎に対応する整備をどうするか」ということについて、再度検討することにしました。

統合、校舎新築、校舎改修などについて教育委員会ともよく話し合い、六月議会まで検討し結論を出したいと思っています

●登坂 市町村合併、和合小の問題とともに、住民の意見をよく

の話を伺うのはもちろん、近隣市町がどのような考え方を持っているなどを十分調査しながら適切な判断をしたいと思います。●**登坂** 和合小学校の統合、改築の件についてはいかがですか

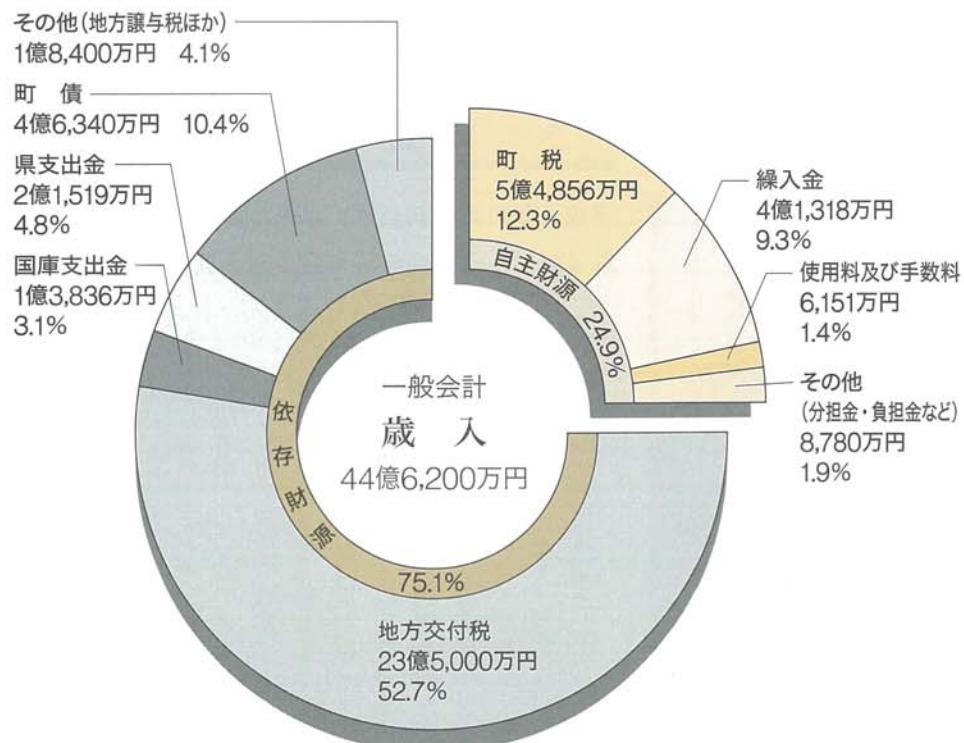
●登坂 全国規模の催しは、町をPRする絶好のチャンスなのでぜひ成功させたいですね。

最後に、今年度の抱負をお聞かせください。

●登坂 元気な町をつくるには
町民と行政とが互いに汗を流す
ことが大事ではないでしょうか。
私たち町民も町づくりに積極的
に参加し「元気な朝日町」を築
いていきたいと思います。今日
はありがとうございました。

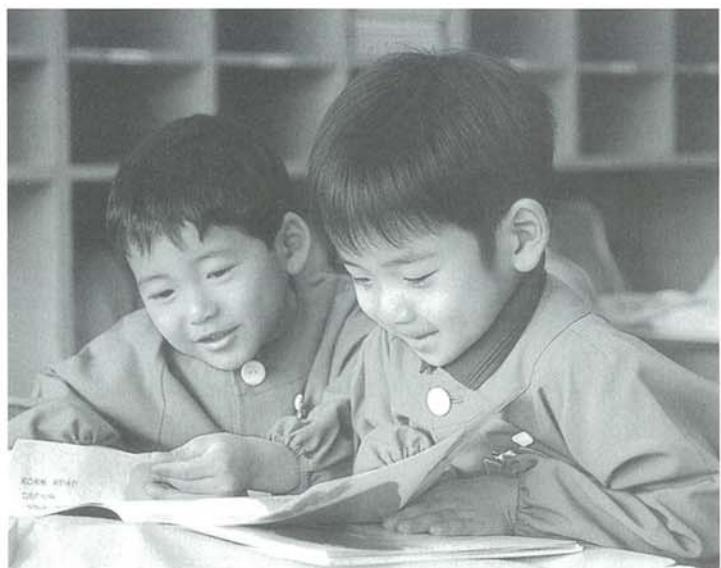
予算

44億6,200万円



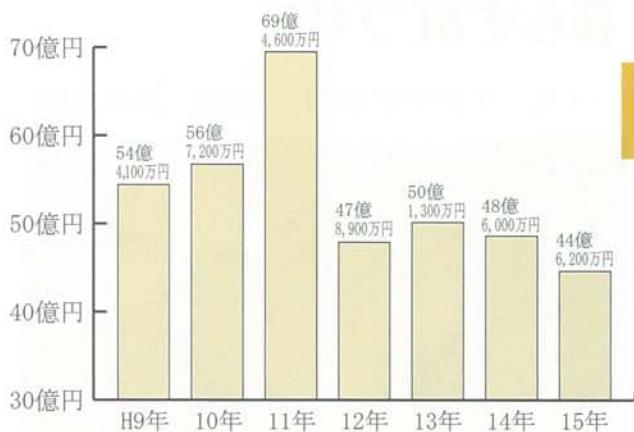
平成十五年度の当初予算が決まりました。一般会計の総額は四十四億六千一百万円で、昨年度に比べると八・一%、三億九千八百万円減しました。主な事業は、国民文化祭や合併処理浄化槽設置推進事業、緊急地域雇用創出特別交付金事業などです。限られた財源を効率的に配分し、重点事業に集中投入させた予算編成となりました。

●衛生費	●総務費	一般会計
		町民一人あたりで
57,815円	58,957円	486,428円
●農林水産業費	●民生費	みみると
		(平成15年度4月1日の人口9,173人で算出)
30,719円	84,460円	



特集●平成15年度の町づくりと予算
みんなの力で元気な町づくり

■一般会計当初予算の推移



■特別会計・企業会計当初予算

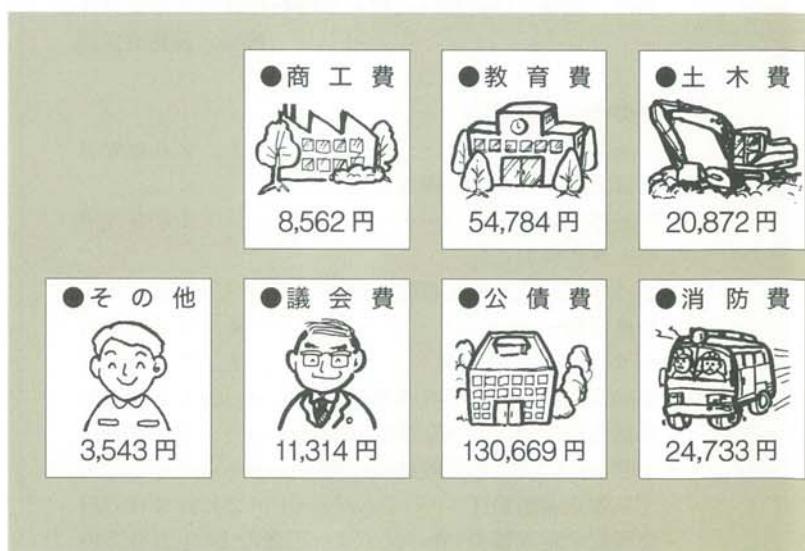
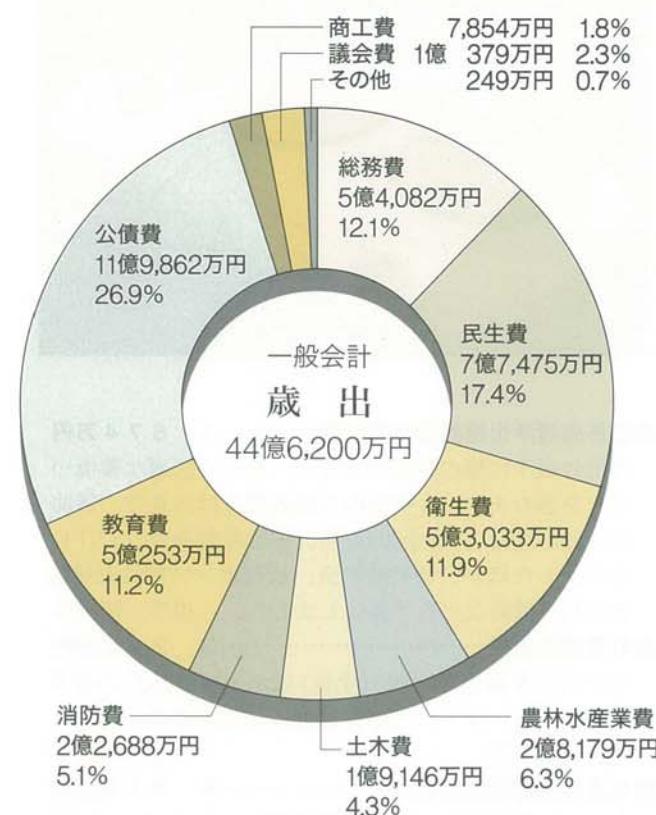
	会計名	予算額
特別会計	集落排水事業	1,300万円
	国民健康保険事業	8億6,300万円
	老人保健事業	11億5,200万円
	介護保険事業	6億4,040万円
	住宅団地造成事業	510万円
企業会計	病院事業	収益的収支 9億9,800万円 資本的支出 4,860万円
	水道事業	収益的収支 1億7,700万円 資本的支出 8,600万円

■町税の内訳

・町民税	1億7,620万円
・個人	1億5,520万円
・法人	2,100万円
・固定資産税	3億2,176万円
・軽自動車税	1,780万円
・町たばこ税	3,000万円
・入湯税	280万円
合計	5億4,856万円

平成15年度

一般会計当初予算



主な予算

生活環境を整え 住みやすい町づくり

(生活環境分野)



●合併処理浄化槽設置推進事業……………7, 674万円

合併処理浄化槽の設置を推進し、美しく快適な環境づくりを進めます。今年度の目標設置数は80基で、補助金6,295万円、奨励金605万円、排水路整備費118万円を計上したほか、切替補助金、放流ポンプ槽設置補助、資金利子補給なども予算化しました。 担当／建設課

●町道整備事業……………3, 208万円

立木区内を通る東平線（全長112m・幅5m）の改良工事を実施します。平成15年度中の完成をめざして工事を進めます。 担当／建設課

●水道老朽管等更新事業……………6, 910万円

大町と元町周辺の水道老朽管更新と、和合バイパスの水道管新設工事を行います。工事開始は6月頃を予定しています。 担当／水道事業所

●防火水槽整備事業……………1, 260万円

西町、能中、中沢地区に防火水槽を整備する予定です。 担当／税務町民課

●その他の主な事業

- ・町道舗装事業……………1, 200万円
(上郷太郎線、太郎西線など)
- ・町道維持補修事業……………100万円
(杉山水本線など)
- ・がけ地近隣危険住宅移転事業費……………484万円
- ・除排雪費……………4, 196万円
- ・町営バス運行費……………1, 703万円
- ・昼間タクシー運行委託事業……………120万円
- ・宮宿左沢間路線バス利用拡大事業……………270万円
- ・子ども会資源ごみ回収助成事業……………315万円
- ・ごみ収集運搬委託……………2, 080万円
- ・交通安全施設整備(カーブミラー設置など) 150万円

一人ひとりがいきいきと 暮らす町づくり

(文化・生涯学習分野) (健康・福祉分野)



●国民文化祭費……………282万円

今年10月4日（土）・5日（日）に第18回国民文化祭「人形劇フェスティバル」を創遊館を主会場に開催します。町の人形劇団「はなまる」による創作ミュージカル人形劇「浮島物語」の発表のほか、プロの劇団「むすび座」や県内外より21の劇団が参加し、さまざまな人形劇を上演します。 担当／生涯学習課

●町史上巻印刷費……………367万円

町史編さん専門員を中心に執筆を進めている朝日町史（上巻）を発刊します。 担当／生涯学習課

●自治公民館整備補助事業……………200万円

和合公民館と西船渡公民館に合併処理浄化槽を設置します。なお、自治公民館の合併処理浄化槽設置については、合併処理浄化槽推進事業費からも助成が受けられます。 担当／生涯学習課

●介護保険特別給付事業……………324万円

介護保険料を財源とした特別給付として、紙おむつ購入費の支給を行います。 担当／健康福祉課

●老人保健（高額医療費）事業……………3, 000万円

老人保健受給者の高額医療費制度が新設され、支給が始まります。 担当／健康福祉課

●その他の主な事業

- ・創遊館ホール事業……………80万円
- ・健康増進センター外壁改修事業……………150万円
- ・町民体育館屋根改修事業……………133万円
- ・スクールバス購入事業……………464万円
- ・いきいきデイサービス事業……………220万円
- ・子育て支援事業……………142万円
- ・各種健診……………3, 803万円
- ・病院器材購入（糖尿病検査器材ほか） 1, 010万円

特集●平成15年度の町づくりと予算

みんなの力で元気な町づくり

住民と行政が協働で築く町づくり

(地域・自治分野)



●コミュニティ助成事業……………250万円

コミュニティ助成（宝くじ助成）を受けて、大町中郷地内に公園を整備します。 担当／企画課

●朝日分校跡地利用事業……………57万円

朝日分校跡地約3ヘクタールを利用し、町民の憩いの場となる公園を整備します。今年度は地区住民も参加した検討委員会を組織し、構想づくりに取り組みます。 担当／企画課

●村おこし補助金……………300万円

志藤六郎村おこし基金を活用した事業。まちの誇り（シンボル）づくりや地域の自治活動、特産品などの開発に対して補助します。 担当／企画課

●地理情報システム整備事業……………1,035万円

平成14年度で現地調査が終了した地籍調査結果を広く活用するため、電算システムを導入します。 担当／税務町民課

●目標管理・組織開発推進業務……………200万円

厳しい財政状況の中、行政事務の効率化を図り、より一層の住民サービスの向上をめざして昨年度より導入した行政事務評価制度。今年度は、組織機構の見直しや予算の効率的配分などに役立てるため、管理計画の作成に取り組みます。 担当／企画課

●その他の主な事業

- ・エコミュージアムルーム管理運営費……………200万円
- ・東京都杉並区とのりんご交流事業……………13万円
- ・海の子山の子交流事業……………18万円
(宮城県七ヶ浜町立小学校との交流会)
- ・若者交流事業……………120万円

産業の振興で活力ある町づくり

(産業・経済分野)



●農業後継者育成事業……………56万円

小学生・中高齢者を対象にした農業体験事業を実施します。漬物などの加工品づくりやガーデニングなどの講座を年4回程度開催します。 担当／農業研究所

●中山間地域農村活性化総合整備事業…2,868万円

県営事業として、常盤から長沼の農道整備と「朝日土づくりセンター」建設に取り組みます。朝日土づくりセンターは、良質な堆肥を供給し土づくりを推進する施設で鹿路地内に建設を予定しています。

担当／農林課

●緊急地域雇用創出特別交付金事業……………715万円

国からの交付金を活用し、緊急雇用対策事業を実施します。商工観光課内に雇用相談窓口を設けるとともに、雇用の場を提供するために、6つの対策事業を実施します。

担当／商工観光課

●商工業緊急活性化利子補給事業……………172万円

商工業者への支援事業。貸付額最高500万円までに対する利子を半額補給し、商工業の活性化を図ります。

担当／商工観光課

●その他の主な事業

- ・中山間地域等直接支払事業……………3,454万円
- ・森林整備地域活動支援交付金……………1,220万円
- ・園芸銘柄産地育成事業……………1,000万円
- ・八ツ沼水環境整備事業（トイレ建設ほか）783万円
- ・りんご銘柄産地確立対策事業……………100万円
- ・高品質りんご生産緊急対策事業……………63万円
- ・地産地消推進事業……………20万円
- ・ダチョウ振興支援事業（飼育設備費助成）…30万円
- ・木材製品利用住宅建築奨励補助事業……………400万円
- ・各種イベント費……………160万円

町職員

人事



四役

●文書研修係	●庶務係	●農政係	●企画課
係長	主査兼係長 若月加代子	主査兼係長 鈴木長岡	主査兼係長 伊藤渡辺
鈴木高敏	主事 阿部阿部	主事 佐竹幸雄	主事 近衛智之
業務員 運転技師	主事 主事	主事 主事	主事 主事

総務課

Tel 67-2111



農林課

Tel 67-2114



税務町民課

Tel 67-2107



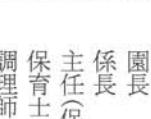
健康福祉課

Tel 67-2116



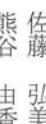
ふたば保育園

Tel 68-2123



わかば保育園

Tel 68-2123



●農業委員会	●農業研究所	●財政係
主任	所長(兼)	主査兼係長
長岡武一	池田伸一	伊藤渡辺
大谷海野	佐藤伸寛	阿部洋一
海野裕喜	佐藤伸寛	近衛智之
阿部和広	佐藤伸寛	清志
正文忍	佐藤伸寛	康宏

●固定資産税係	●地籍調査係	●子育て支援係
係長	係長(兼)	係長(兼)
柴田智子	佐藤和広	阿部隆弘
松田勝美	大沼八代子	小野千代
菊地早百合	佐藤直美	高沢きく子
佐藤修	鈴木淹子	阿部政子
長岡利光	菅井和広	藤沢則雄
佐藤利光	菅井和広	阿部正樹

●在宅介護支援センター係	●保健給付係	●社会福祉協議会
係長	係長(兼)	事務局長
村山敏子	阿部高取のぶ子	阿部高取のぶ子
高取のぶ子	阿部阿部	阿部阿部
阿部正樹	阿部阿部	阿部阿部
佐藤正樹	佐藤佐藤	佐藤佐藤
佐藤正樹	佐藤佐藤	佐藤佐藤
佐藤正樹	佐藤佐藤	佐藤佐藤

四月一日付で町職員の人事異動が行われました。組織機構の見直しにより、健康福祉課に「保健給付係」を新設、これまでの国民健康保険・老人保健等に関する業務及び介護保険の給付に関する業務を行います。介護保険の認定に関する業務は同課福祉係に移され、それに伴いこれまでの「介護保険係」及び「国保医療係」は廃止されます。また、同課内に町の子育て支援業務を統括する「子育て支援係」を新設し、子育て支援体制の一層の充実を図りました。

さらに、西村山広域行政圏における市町村合併に対する調査研究など、今後の取り組みに対処するため、企画課に専任職員を二名配置しました。今年度の職員体制は次のとおりです。

市町村合併を考える／シリーズ④



活発な意見交換となった上郷地区座談会

市町村合併についての座談会が二月二十五日から、町内七箇所で開催されました。座談会には町より清野町長はじめ町四役や全課長らが出席。合併についての町長の考え方が説明されました。町では出席された皆さんとの質問や意見を集約し、今後の進め方を改めて検討することにしています。詳しい内容については、広報「あさひまち」五月号で紹介します。今月は、国の合併をめぐる動きや国・県の合併支援策を紹介します。

合併をめぐる国の動き

片山プラン

片山プランとは、片山虎之助総務大臣が、市町村合併を促進させることをねらいに、統一地方選挙後に発表される計画のことです。その骨子について紹介しましょう。

①合併の意思決定はしたもの

で手続きが終わらなかつた市町村を合併特例法の適用対象とする。②特例法の期限後も合併を促進するため、新たな合併促進法(仮称)を制定する。③新たな促進法には、地域自治組織の制度化や都道府県の調整権限などを盛り込む。④合併手続きの迅速化を図る。⑤市の昇格要件の「三万人特例」を平成十七年三月末まで一年間延長する。(現在の特例措置は平成十六年三月末などの内容となっています。

これらのプランがいつ、どの程度具体的に示されるのか、今後大いに注目してゆく必要があります。

●国や県の合併支援策（平成17年3月までに西村山一市四町が合併した場合）

区分	種類	内容	予想される金額
地方交付税における特別措置	普通交付税の算定特例	合併後10年間は、合併がなかったものと仮定して合併前の市町村の算定する額の合計額を保障する。その後5年間で段階的に本来の算定額に減額する。	現段階では、国の税源移譲問題とも絡み不明
	臨時経費に対する特例	合併後のコンピューターシステムの統合などに必要な臨時経費を5年間均等に普通交付税に上乗せする。	約1億9,600万円×5年 =9億8,000万円
	特別交付税	合併後の新しいまちづくりや公共料金格差是正など、臨時経費に対する支援として3年間特別交付税で措置する。	3年で約8億9,000万円
合併特例債	まちづくり建設事業	合併後の市町村建設計画に基づき行う事業に対し、10年間合併特例債を充当できる。	元利償還金の70%が普通交付税に算入 事業費総額の上限 約447億6,000万円
	振興基金造成	合併後10年間地域振興や住民の一体感醸成事業に対応した基金造成に合併特例債を充当できる。	元利償還金の70%が普通交付税に算入 上限 36億8,000万円
補助金・交付金	国補助金	市町村建設計画に基づく事業に対し、合併後3年間補助される。	上限 2億1,000万円×3年 =6億3,000万円
	県交付金(基金造成)	合併関係市町村数あたり5,000万円を上限として交付される。	上限 5,000万円×5 =2億5,000万円

※その他に合併前の準備段階での支援策もあります。



三月定例町議会が三月六日から九日間の日程で行われました。特別職の報酬減額についての条例改正や体育施設使用料の条例改正、平成十五年度予算など三十八議案が審議され、すべて原案どおり可決しました。

町長など町四役の報酬が4月1日から1年間削減されます。

昨今の経済情勢や町財政状況を考慮し検討されたもので、町特別職報酬等審議会（今井幸雄会長）において審議後、3月議会で可決されました。

また、町議会でも月額議長10,000円、副議長8,000円、議員7,000円をそれぞれ減額することに決定。また、固定資産評価審査委員会委員、広報委員会委員など非常勤特別職の報酬についても一部見直しが行われました。

これにより、年間約1,465万円（特別職分）の人員費が節減されます。

■特別職の報酬（月額）

町 長	10%減	735,000円
助 役	5 %減	600,000円
収入役	3 %減	555,000円
教育長	3 %減	555,000円
議 長	10,000円減	300,000円
副議長	8,000円減	242,000円
議 員	7,000円減	228,000円

特別職の給与を引き下げ



町民の皆さんの健康な体づくりとスポーツの振興を図るため、町民体育館、北部体育館、健康増進センターの個人使用料が、4月1日から次のように改正されました。どうぞご利用ください。

■一時間帯(午前・午後・夜間)一人につき

高校生以下 … 無 料

大 人 …… 1 0 0 円

町内体育施設 高校生以下無料に

第1号被保険者(65歳以上)の 介護保険料が改定されます

平成12年4月に介護保険制度がスタートして3年が経過しました。この制度の導入により、皆さんから介護サービスを利用していただいた結果、在宅での自立した生活が可能になり、家族の介護負担も軽くなりました。

その一方で、高齢化の進行や制度の定着にともない、介護サービスの利用者は年々増えており、今後もますます増えることが予想されます。

町では、3年に1度見直すこととなっている「介護保険事業計画」を住民参加による策定委員会で検討していただき、現状に即した計画の見直しを行うとともに、65歳以上の方の介護保険料を右表のように改定しました。

また、在宅支援充実の観点から、4月より町の特別給付として、紙おむつ購入費の支給を行うことになりました。

介護保険業務については今年度より、保険給付係と福祉係に分担なりますが、これまで同様お気軽に健康福祉課窓口までご相談ください。

所得区分	対 象 者	保険料月額
第1段階	・生活保護を受給されている方 ・老齢福祉年金を受給されている方で、本人を含め世帯全員に住民税が課税されていない方	1,490円
第2段階	・本人を含め世帯全員に住民税が課税されていない方	2,235円
第3段階	・本人に住民税が課税されていない方	2,980円 (基準額)
第4段階	・本人に住民税が課税されており、前年の合計所得が200万円未満の方	3,725円
第5段階	・本人に住民税が課税されており、前年の合計所得が200万円以上の方	4,470円

長い歴史に幕 地域とともに歩んだ



送橋小学校最後の在校生

澄み切った青空が広がる春の穏やかな日に、送橋小学校と上郷小学校の閉校記念式典が各校で行われました。児童や教職員のほか多くの卒業生が出席し、思い出がいっぱい詰まった学び舎に最後の別れを告げました。

三月二十二日に行われた送橋小の閉校式典では、児童全員が息の合つた一輪車の演技と、学校の歴史や思い出を歌や言葉で発表。感謝の心を込めた「送橋小ありがとう」の呼びかけに涙する卒業生の姿もありました。翌二十三日に行われた上郷小の閉校記念式典では、児童がこの日のため

に一生懸命練習してきた合奏や南中ソーラン踊りを披露。最後に出席者全員で先生方が作詞作曲した閉校の歌「希望へつづく道」を高らかに歌い上げ、今後のがんばりを誓いました。

送橋小は明治九年、上郷小は明治七年に創立。百二十余年の長い歴史を地区民とともに歩んできたまさに「地域の学校」でした。「学校の灯りは消えても、地域の活力までも消してはならない」。この日の澄み切った青空で、未来と地域の発展を願った。



卒業生の思いもひとしお（送橋小）



“ありがとう”的心を込めて、学校生活の思い出を発表（送橋小）



「善学遊（よく学び、よく遊ぶ）」の教えを胸に羽ばたく、上郷小学校最後の在校生



明日へ向って元気よく、
南中ソーラン踊りを披露（上郷小）



なつかしい写真を見ながら、思い出話に花を咲かす（上郷小）



校舎の前で出席者全員が記念撮影（上郷小）



閉校記念碑を除幕（送橋小）

まちの話題

① 宮宿小学校統合式



新生宮宿小学校 明日に向かって出発

4月9日、町内4小学校の入学式が一斉に行われました。中でも上郷小学校、送橋小学校及び宮宿小学校の3校が統合し新たな出発となった宮宿小学校の入学式は、参列した来賓者や保護者にとって感無量の式典となりました。

入学式に先立ち行われた統合式の中で、安藤昭郎校長は、「統合に向けたこれまでの地域の方々の心労に感謝し

ます。新しい宮宿小学校の伝統と校風を築きあげていくことを誓います。」とあいさつ。3校を代表し佐藤隆浩君(宇津野)、渡辺康基君(送橋)、布施恵さん(前田沢)が、「早くたくさんの友だちと勉強したいと思っていました。自分らしさを出して、明るく楽しくみんなが助け合える学校にしていきたい、あいさつ運動をはじめ宮宿小学校の良いところをどんどん生かしていきたいと思います。」と抱負を語りました。

児童会歌「明日に向かって」にのせて、新生宮宿小学校のスタートです。

③ 東北地区ミニバスケットボール交歓大会



宮宿女子ミニバスケ出場 敢闘賞を受賞

3月21日から23日まで宮城県総合体育馆(グランディ21)で開かれた東北地区ミニバスケットボール交歓大会に、宮宿女子ミニバスケットボールスポー

ツ少年団が3年ぶり3回目の出場を果たし、みごと敢闘賞を受賞しました。昨年秋に開かれた山形県大会で堂々3位に入賞し、県代表として出場したものです。

同団は昭和57年に結成。清野久憲コーチのもと、宮宿小学校体育馆で週3回汗を流しています。

試合の結果については次のとおりです。

【成績／1勝2敗】

対 大曲(秋田県)戦

21対43 惜敗

対 西南地区(岩手県)戦

33対39 惜敗

対 片平(宮城県)戦

31対22 勝利

② 各種大会成績

◆第5回

朝日自然観ジュニアスキーフェスティバル

- (2月22日・朝日自然観スノーパーク)
小学4年男子①阿部悠祐(宮宿小)②阿部友樹(西五百川小)③長岡友樹(西五百川小) / **小学4年女子**①佐藤澤(宮宿小)②安藤華奈(上郷小)③遠藤知佳(大谷小) / **小学5年男子**①安藤友哉(上郷小)②阿部裕也(大谷小)③堀隼聰(大谷小) / **小学5年女子**①鈴木愛央(和合小)②山内彩(宮宿小)③鈴木眸美(宮宿小) / **小学6年男子**①鈴木勝貴(和合小)②渡辺大貴(宮宿小)③伊藤将貴(宮宿小) / **小学6年女子**①近藤彩英香(宮宿小)②大谷結華(大谷小)③石井亜弥(大谷小)

◆第7回町民インディアカ大会

- (3月2日・町民体育馆)
①日焼けサロンズ②ダイナマイトパーティーズ③ラッキー

◆第36回

町民バドミントンフェスティバル
(3月23日・町民体育馆)

- 団体A**①アイジー工業A②アイジー工業B③あじびか1号 / **団体B**①チーム538②アイジー工業C③イエローチェリー / **団体C**①ウリナリ②大谷風③アラシ / **オープンダブルス1部**①大沼・砂田②大本祐一・高橋純弥③佐藤義明・後藤昭子③槙武士・増川弘樹 / **オープンダブルス2部**①本間広・永尾郁子②長岡好・石塚留美子③小野康仁・白田征治③高橋徹・豊嶋智恵美 / **レディースダブルス**①鈴木清美・佐藤敦子②佐藤弘子・木村弘子③荒井克仁・佐藤瑞葉③早坂文恵・白田久美



■3月1日～31日



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大谷五	長岡 結衣	女	謙・亮子
大町	鏡 大和	男	昌弘・睦
松程	白田 大心	男	希・優子
新宿	佐藤 百恵	女	亮二・恵理香
前田沢	布施 翔馬	男	獎・郁恵
西町	菊地 健人	男	章・早百合
本町	安達 裕大	男	善裕・知子



おしあわせに

阿部 容一
(夏草) 伊藤 かおり
(山形市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主
四ノ沢	鈴木 キクエ	利雄
元町	渋谷 かつよ	武雄
大谷五	川村 きゑ	美智也
四ノ沢	近藤 幸男	裕明
本町	村山 紀一	邦昭
四ノ沢	柴田 さく	美喜雄
四ノ沢	清野 正	正博
大谷四	白田 圭次	圭一郎
元町	鈴木 良	治郎
太郎一	長岡 恒喜	光子
本町	伊藤 富雄	正
夏草	佐竹 瑞穂	ひでよ
助ノ巻	花山 みつゑ	芳一

掲載を希望しない方は、お届けの際に
お申し出ください。

人口と世帯数

●平成15年3月31日現在

人口 9,173人(55人減)

男 4,552人(26人減)

女 4,621人(29人減)

世帯数 2,581戸(-)

() 内前月比

④ 平成14年度町体育協会表彰式



スポーツ分野で
大活躍

平成14年度朝日町体育協会表彰式が2月20日、生涯学習推進大会の席上行われ、4団体14個人に賞状とメダルなどが贈られました。

◆優秀賞

清野紗由美(送橋・卓球)／送橋剣道スポーツ少年団／宮宿女子ミニバスケットボールスポーツ少年団／宮宿男子ミニバスケットボールスポーツ少年団

(大谷四・剣道)／小林陽介(大沼・剣道)／白田亮介(大谷三・剣道)／白田大地(大谷四・剣道)／大井次郎(本町・剣道)／小林透佳(大沼・剣道)／櫻井豊(大谷五・陸上)／浅岡若菜(西町・バスケットボール)／朝日中男子剣道部

◆殊勲賞

山崎友(西町・カヌー)／長岡大輔(太郎三・カヌー)／橋間友祐(西町・カヌー)／菅井寛之(小原・自転車)／白田憲彦

◆奨励賞

鈴木秀太郎(小原・ゲートボール)

⑤ あさひまちの宝さがし



朝日町の宝
730点集まる

町教育委員会とあさひまち宝さがし実行委員会(実行委員長

朝日町エコミュージアム協会理事長 安藤竜二)の共催事業「あさひまち宝さがし」の展示会がこのほど創遊館で開催されました。町内小中学生をはじめ、町民の皆さんや朝日町ゆかりの方々

からお寄せいただいた、それぞれ人の心に残る「宝」は、人・もの・風景、生活の知恵、昔の思い出など730点余り。その中から明鏡橋やJA西五百川支所、三中分校など数点を取り上げ紹介したものです。

展示は2月末から約3週間行われ、多くの人々が来観、今まで知つていそうで知らなかつた身近な物事の歴史や価値に驚く人、昔を懐かしむ人と、きれいな写真や文章の26枚のパネルを1枚1枚じっくりと眺めていました。

朝日町の原風景

写真コンテスト作品 vol.1

最優秀賞 「叫ぶ」



山形市で月に一回開催される写真教室に通い始めて五年くらいになります。

朝日町のダチョウのこととは、以前に新聞やテレビで知り、妻と一緒に見に行った時に、
ちょっと興奮気味でシャッターを切ったことを思い出します。

被写体が動いているものなので、この位置で二匹をとらえることがとてもたいへん
でした。これからも、朝日町のいいところをずっと撮り続けていきたいと思っています。

撮影者 布川貞雄さん(寒河江市)

雪解けのせせらぎが眩しいばかりの陽光に輝き、軽やかな音を立てて流れる、そんな光景を目にするとき、心の中に不思議な力がみなぎってきます。新鮮な気持ちで新たなスタートラインに立っている自分自身を感じずにはいられません。

四月は入園式、入学式、入社式と、限りない夢や希望を持って出発する方が多くいらっしゃいます。宮宿小学校での統合式、

春 夏 秋 冬

編集後記

新生小学校のスタートに、朝日町の将来を担う子どもたちの澄み切つたまなざしは、溢れんばかりの夢と希望に満ちあふれていました。

桜前線も休みなく北上中。春の朝日路を花いっぱいに包み込むまでもう間近。さあ、平成十五年度のスタートです。

道ばたに
いっぱい見つけた 春一番
(ハヤケン)



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。